

5号 2022夏 通巻148号



発行 東谷山校区コミュニティ協議会
発行人 梶島 奉文
発行所 鹿児島市魚見町124-1 (東谷山小学校内)
TEL 099-298-5983
E-mail higatani53@po5.synapse.ne.jp
HPアドレス https://higatani53.com/



令和4年度東谷山校区コミュニティ協議会役員名簿

Table listing the names and positions of the community association members for the 4th year of Reiwa, including roles like Chairman, Vice-Chairman, and various department heads.

令和4年度東谷山校区町内会長・世帯数

Table listing the names of neighborhood chairmen and the number of households in each neighborhood within the Higashi Taniguchi district.

令和4年度東谷山校区コミュニティ協議会事業計画

Calendar-style table showing the schedule of activities for the community association, including dates, events, and responsible departments.

【我がまちの歴史】第4回 波ノ平城跡 希望ヶ丘に城があった!

南北朝・戦国時代の希望ヶ丘は波ノ平城という山城であった。谷山観光協会刊の「谷山の歴史と文化財」には希望ヶ丘団地が建設される以前調査した時、「谷山諸記」に記されている「卯ノ方(東)戌ノ方(西)迄武者溜り寅ノ方(北東)堀切、亥子ノ方(北西)下二小道アリ」の通りの地形になっていることを確認した。この城跡を「城ヶ原」とも呼んでいるが、これが波ノ平城跡と思われる。興国3年(1361)北朝方島津貞久(五代藩主)は南朝方の谷山隆信、弟忠高を討とうとして、この城に陣地を築いた。一方谷山氏の軍には、喜入、知覧、川辺、別府(加世田)から援軍が加わり波ノ平城を攻めた。谷山軍は一隊を率いて牛落(今の二軒茶屋電停近くの牛掛公園付近)に駐屯し、鹿児島からの通路を断った。この時出水の島津忠直が、援軍を率いて谷山軍の一隊を破り、貞久軍は危ないところを救われ、鹿児島に帰ることができたと言われている。(文責/松本俊雄)



城のイメージ画像です。



ヒガタニの空に高く舞い上がれ

コロナウイルス感染予防対策に十分に努めた上で、1月15日(日)に校区凧上げ大会を実施し、60数名が参加してくれました。デザイン部門では、鶴校長先生をはじめとする審査員に向けて、凧のアピールポイントを一生懸命に話す姿が見られました。また、高さ部門では、自分の想いを風に任せ、笑顔で空を見上げながら凧上げを楽しんでおりました。これからも、コロナと向き合いながら、子どもたちの笑顔と成長を見守るあいご会活動となるよう努めていきますので、よろしく願い申し上げます。(小学校あいご会コーディネーター 井之元菜瑚)

3年目を迎えた東谷山「コミュニティ協議会」
東谷山校区コミュニティ協議会 会長 梶島 奉文
皆様にはかねてより町内会活動をはじめ、校区の取り組みにご協力をいただき深く感謝いたします。
さて「東谷山校区コミュニティ協議会」が発足して2年がたちました。近年の少子高齢化や核家族化などの進行は、

福祉、安全など様々な地域課題が出てきています。これらには個別の団体だけでは対応が難しくなっており、地域の様々な団体が連携・協力して、地域の住民自ら解決にあたる継続可能な組織が必要となります。その組織が「校区コミュニティ協議会」です。
これから地域資源の再発見・活用、地域課題の解決のため様々な事業を行ってまいります。その際、地域で活動する各種団体との連携と情報共有を進め、これまで個別に活動していた各種団体が連携・協力して活動を展開していきます。
今回策定された「コミュニティプラン」は、自分たちの住む地域をどんなまちにしていきたいか地域住民の声を聞いて、将来像を思い描き、地域の課題解決や地域資源の活用などに取り組むための向こう5年間の具体的な計画です。
3年目を迎えた校区コミュニティ協議会、模索し続けるのですが、どうぞ皆様の一層のご理解ご協力をお願いいたします。

みんなで取り組む「SDGs」

私の胸元を見て、時に「コレ、いいバツだね」「コレの意味は？」と子どもから年配の方まで問われる。「エスディーズ！」と、答える私。意味はね、17の目標があり、みんなの地球を、努力してみんなで生きやすい環境にしていこう。例えばね、食器を洗う時、今まではスポンジを泡立てて、キュッキュツを楽しんで洗いました。そして、ホツとしていた。が、少一し手間だけど、食後に食器をペーパーなどで上手く拭いて、タレやソースは、新聞紙にヘラで落とす。それから、ペーパーで…。格段に水量と廃水の汚れは減ることでしょう。後ザーツとアクリルたわしてなでると、ヌルヌルは見事に残ってない！ 今、私から、一つから始めてみましょう。(梶島カズエ)